



2021年度第1回プチ国際理解講座



4月21日(水)の放課後に今年度第1回目となるプチ国際理解講座を開催しました。
 今回の講師は「NPO 法人 しんせい」の代表理事である富永美保さんです。
 「ローカル SDGs を学ぼう」をテーマに、障がい者を支援するしんせいさんの
 SDGs に向けた取り組みや地域課題探究活動について講演していただきました。



NPO 法人しんせい について

郡山市の太田西ノ内病院の目の前にあります。障がいを持った方が30名、職員が6名いらっしゃいます。
 東日本大震災発生約1週間後、富永さんは被災して双葉郡から避難してきた障がい者のために交流サロンを開設しました。初めは週に5回、映画鑑賞やヨガ、卓球、人々との会話などふれあいが主な活動でしたが、だんだんと利用者さんが来なくなってしまいました。避難前はみなさん仕事をしていましたが、毎日人とふれあいお話しすることに疲れてしまい、仕事をさせてほしいという人が増えたそうです。そこで富永さんは交流サロンを仕事をする場にシフトチェンジしました。そして2013年10月にしんせいが設立され、お菓子作りやミシン作業、園芸、農業などを行っており、今では企業やNGO・NPO、避難の続く福祉事業所と連携してお仕事をされています。

NPO 法人しんせい の活動

地域課題解決へ向けての取り組みもされています。郡山市逢瀬町の休耕地や規格外野菜の有効活用に目を向け、地域の魅力を発信する活動を行っています。また、ブルーベリー栽培にも挑戦し、今後はジャムやケーキ作りもしていきます。

【農園の豊かな自然を活かし守る活動】

逢瀬町にあるしんせいさんの「山の農園」では、ボランティアや地域住民と、利用者さんが力を合わせ園内にSDGsの実践の発信基地をつくる活動をしています。

【農園の豊かな水を継承する活動】

本校と今後農園を流れる大久保川や安積疏水の歴史等を学び利用者さんが紙芝居などで発表する活動を行います。

【農園の持続可能なエネルギーを考える活動】

国立環境研究所とRE100の可能性を探るため、農園内のエネルギー量の測定を行います。

※RE100とは、国際環境NGOのThe Climate Groupが2014年に開始した国際的な連合体のこと。REとはRenewable Energyの略で再生可能エネルギーのこと。企業活動に必要なエネルギーの100%を水力や太陽光などの再生可能エネルギーで調達することを目指す取り組み。

【食品ロスを減らす取り組み】

出荷できない野菜で加工品を作り販売する。

50名参加しました!



SDGsへの取り組みが評価され...



2017年の第1回ジャパンSDGsアワード SDGs推進副本部長(内閣官房長官)賞を受賞されました!

魔法のお菓子 ぼるぼろん

しんせいさんは「ぼるぼろん」という魔法のお菓子を作り、販売しています。利用者さんはお菓子を作る人、お菓子を包む人、箱を作る人、発送する人、経理を担当する人などに分かれ、220人分の仕事となり12の事業所と共に作成・販売をしています。

ぼるぼろんとはシナモンの香りとともに口の中でほろほろと溶ける、スペインの伝統焼き菓子です。ぼるぼろんを口に入れ、溶ける前に「ぼるぼろん ぼるぼろん ぼるぼろん」と3回唱えられたら願いが叶うと言われています。